



山口育児院だより

編集・発行 / 社会福祉法人 山口育児院 2020.6.第42号
 〒753-0082 山口市水の上町5-27 Tel 083-922-1027 Fax 083-922-2389
 e-mail y-ikuji@estate.ocn.ne.jp URL http://y-ikuji.sakura.ne.jp/

今年に入り、新型コロナウイルスが猛威を振るっています。世界中で多くの方が感染し、死者も出ています。日本も例外ではなく、多くの方が苦しみ、犠牲となっています。残念ながら未だ治療薬ができておらず、先が見えません。私自身、これまでに経験したことがない状況に狼狽するばかりですが、一刻も早い終息を願っています。

当初子ども達はまだ今のようには深刻に考えておりませんでした。しかしながら、3月に入り学校が一斉休校となり、その後有名な死が相次いでニュースになると、漸くその恐ろしさに気付いたようです。子ども達だけではなく、情けない話ですが、我々大人もどこまで深刻に考えていたかは正直分かりません。

新年度に入り新学期が始まりましたが、すぐに緊急事態宣言が7都府県に出され、その後全国に出されました。結果、学校も再度休校措置が取られ、外出もままなら

「窮即変 変即通」

「易経」に「窮すれば即ち変じ、変ずれば即ち通ず」という言葉があります。事態がどん底状態まで進むと、そこで必ず変化が起きる。変化が起きると、そこからまた新しい展開が始まるということです。「易経」によると、それが人間世界の不変の真理だと言われます。しかし実際には、そのような状況（窮したとき）には取り乱してしましますし、やけくそになって判断を誤ってしまうことが多々あります。そういう時こそ慌てずに状況の変化を待つべきでしょう。なかなか難しいことですが、じつと待つのです。ただし、ただ待てば

施設長 武重俊之

「読史管見」という書物には「人事を尽くして天命に聴す（まかす）」という言葉があります。一般には「人事を尽くして天命を待つ」という言葉として知られていますが、これは、やるべきことをやった上であとは天に任せるといふような意味です。しかし、ある高徳な方は「天命に従って人事を尽くす」と言われました。易経の教えはどちらかというとな後者のほうに近いように感じます。さて、この違いをどう理解すればよいのでしょうか。

多少落ち着いてきたとはいえ、未だ世界中で苦しんでいる人がいます。今この状況だからこそ、しっかりと受け入れて、この苦しみを学びの絶好のチャンスだととらえて頑張りましょう。



令和元年度決算報告
 令和元年度の決算報告は次の通りです。
 今後とも宜しくお願い申し上げます。

事業活動による収支		本部		施設
		本部	施設	施設
収入	措置費収入	0	169,429,848	
	その他の事業収入	0	1,771,824	
	経常経費寄附金収入	220,000	1,438,007	
	受取利息配当金収入	7,134	171,389	
	その他の収入	0	1,699,414	
	経常収入計	227,134	174,510,482	
支出	人件費支出	144,776	109,852,230	
	事務費支出	80,899	5,935,414	
	事業費支出	0	22,549,510	
	その他の支出	0	663,610	
	経理区分間繰入金支出	0	0	
	経常支出計	225,675	139,000,764	
経常活動資金収支差額	1,459	35,509,718		
施設整備による収支	収入			
	施設整備等補助金収入	0	1,610,774	
	施設整備等収入計	0	1,610,774	
支出	設備資金借入金元金償還支出		1,320,000	
	固定資産取得支出	0	8,368,360	
	施設整備等支出計	0	9,688,360	
施設整備等資金収支差額	0	-8,077,586		
その他の活動による収支	収入			
	積立資産取崩収入	0	483,086	
	その他の活動による収入	0	107,067	
	財務収入計	0	590,153	
	積立資産支出	0	23,448,781	
	その他の活動支出計	0	23,448,781	
財務活動による収支差額	0	-22,858,628		
当期資金収支差額合計	1,459	4,573,504		

資産の部		負債の部	
流動資産	53,747,412	流動負債	4,745,648
固定資産	289,961,136	固定負債	16,266,397
基本財産	124,045,948	負債の部合計	21,012,045
その他の固定資産	165,915,188	純資産の部	
		基本金	61,852,105
		国庫補助金等特別積立金	89,345,414
		その他の積立金	14,600,000
		次期繰越活動収支差額	25,498,984
		純資産の部合計	322,696,503
資産の部合計	343,708,548	負債及び純資産の部合計	343,708,548

歩々清風

新年度に入っても自粛生活が続いたため、各種行事も中止になり、特記すべきことがほとんどないまま夏を迎えようとしています。

今年の夏はどう過ごそうかと考えますが、長い休校措置があったため、子ども達は例年よりも夏休みが短い夏になってしまつようです。かわいそうですが、休校の間の学習の遅れを取り戻すためにはやむを得ないことなのかもしれません。幸い今は多くの学校で空調設備が整っている点はその点は安心ですが、少しかわいそうなおもします。

大人が「いい経験だ」と片付けてしまつのは簡単ですが、子ども達は納得できないかもしれません。それでもあるがままを受け入れ、やっぱり「いい経験だ」と思わないと先に進めないのです。子ども達にはしっかりと頑張ってもらいたいと思っています。応援しています！ (T)

御案内

育児院では、地域の方々に施設を利用していただく為に、いろいろなサービスを実施しています。

トワイライトサービス
 仕事の関係で帰宅が夜間になる方、お子さんの下校時より仕事終了時迄お預かり致します。

短期入所サービス
 病気、事故、出産等でお子さんの養育が難しくなった時等、短期間お預かり致します。

当院をご利用ご希望の方はお気軽にご連絡下さい。又ボランティアの受け入れもしております。

福祉に関心のある方、是非一度ご来院下さい。





ストレス ～緊急事態に学ぶ～

新型コロナウイルスの影響で、3月初めから5月24日まで学校が休校措置となり、登校することができませんでした。進級した子はもちろんですが、新たに中学校や高校に進学した子ども達も、進学して数日登校しただけですと休みが続いています。普段は「学校嫌い!」「勉強嫌い!」と言っている子ども達も、これだけ休みが続くと、「早く学校に行きたい!」と言うようになりました。

子ども達だけでなく我々職員も、ほぼ3月に亘り休みというのはこれまで経験がありません。日常生活にも大いに影響してきますが、文句を言っても事態が改善するわけでもなく、この状況をいかに受け入れて対応していくかが重要です。

連日メディアで取り上げられているように、この自粛要請が原因で「ストレス」が問題になってきています。学校や仕事に行けないだけでなく、外出自体もままならなかったためにストレスが溜まるという

のです。そしてそのストレスが原因で虐待やDV、さらには離婚にまで発展する例もあるそうです。本心に厳しい生活になっていいますが、これらの二重苦を耳にすると、いつか我々はこんななストレス耐性が弱くなったのかなあと思います。「ステイホーム」と言われますが、自宅で過ごすことは、ある意味当たり前のことです。もちろん都会と田舎ではその環境も違うでしょうし、各家庭の条件も違うので一概に判断することはできません。普段から厳しい環境で生活している人もたくさんおられるでしょう。しかし、理想がもしれませんが、本来家庭が一番落ち着き、寛げる場であるべきだと思います。

以前施設見学にお越しいただいた団体の皆様とお話をした時に、山口育児院の生活時間を説明した際に、「理想的な生活で素晴らしいですね」と言っていたことがありますが、今の世の中朝食を食べずに登校する子どもがたく

さにいる中で、施設では毎日きちんと生活ができていて、その点を理想的だと言っていたいたので、す。しかし、本来はこういう生活が特別なことではなく当たり前だと思えるようにならなくてはいいと思います。規則正しい生活、そしてそういう家庭が一番落ち着ける場になる。それが、「当たり前」と感じられるように努力しなければなりません。

現代は高度情報化社会で、様々な情報を簡単に手に入れることができます。しかし、逆に言えば刺激が強すぎて、その膨大な情報に溺れてしまっているとも言えるのではないのでしょうか。私自身を省みても、本当に必要なもの以外のものに惑わされ、悩まされていることが多いような気がします。冷静に今の状況を受け入れてみると余計なものに気が付き、それらを一度捨ててみると案外楽になれるのではないかと思います。

山口育児院の地域交流スペースには、「円相」の額が掲げられています。この円相は「無欠無余」といい、欠けること無く余ること無しという我々の心の状態を表しています。簡単に言えば、足りない

ものもなければ余分なものもないということでしょうか。そういう心になれば毎日を穏やかに楽しく過ごすことができるでしょう。満たされなければストレスがかかるとはよくわかれると思いますが、実は満たされすぎてもストレスはかかるのです。「無欠無余」という状態になれば自然にストレスも軽減されていくと思います。

皮肉なことに、世界中で自粛の日々を過ごさざるを得ない状況で、大気汚染をはじめとする地球の環境が劇的に改善されているという話もあります。もしかしたら今回のパンデミックは地球の自浄作用が働いているのかもしれない。もしそうだとすれば、単に治療薬やワクチンを開発するだけではいずれまた同じような危機はやってくるでしょう。もちろん経済的にマイナスな影響も大きいのでバランスをとる必要はありますが、これを機会に一人一人が日々の生活を少しだけ見直してみると良いと思います。一人で行えることは僅かであっても、その力が結集すれば大きな力になり得ます。そのことを信じてこの困難を乗り越えていきましょう。



メエメエヤギさん、産まれたよ!

今年3月、山口育児院の隣の洞春寺に1頭のメスのヤギが来ました。この雌ヤギは当時妊娠しており、洞春寺に来て間もなく、2匹の子ヤギを出産しました。

時、恰も新型コロナウイルスで様々な自粛を要請されている中で、この子ヤギの出生は育児院の子ども達にとってとても嬉しい出来事でした。

3月13日午前、洞春寺の裏にある小屋で生まれ、お寺の方が走って育児院に知らせに来てくれました。すぐに子ども達と一緒に見に行くと、お母さんヤギがやさしく子ヤギを舐めており、皆でしばらく見守っていました。その後一巨育児院に戻りました。ところがしばらくしてまた2匹目が産まれたとの知らせが入り、再び見に行くと、かわいい子ヤギが2匹、お母さんヤギに守られていました。子ども達は大喜びで、「かわい

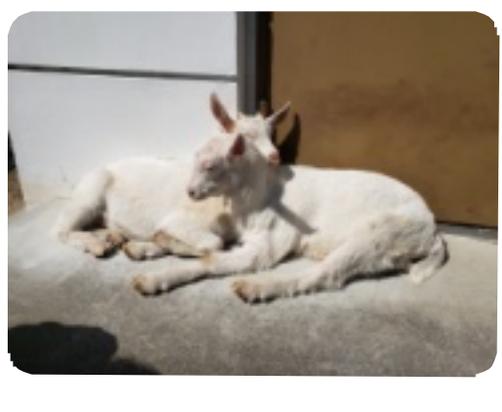


い!」と大はしゃぎでしたが、「産まれたばかりの赤ちゃんはそのままおいてあげようね。お母さんヤギも赤ちゃんを守るためにピリピリしているかもしれないからね」と言うと、みんなしばらく静かに見守り、帰っていききました。子ども達なりに大事に見守ろうという気持ちを持ってくれたのだと思います。その後、子ヤギ達はすくすくと成長し、やんちゃにあちこち走り回る

ようになりました。それでも最初の内はお母さんヤギの近くで遊んであまり離れなかったのですが、今では行動範囲も広がり、元気に暴れまわっています。

新型コロナウイルス禍で外出もままならなかった子ども達にとって、このヤギさん達は救世主のようです。また、育児院の子ども達だけでなく、洞春寺にお参りに来られる方や県庁に通う人達をも癒してくれています。

動物といえば、洞春寺では犬のマル住職が有名です。初代マル住職は残念ながら今年1月に遷化した



ましたが、その後すぐに2代目マル住職が就任しています。ヤギさん達とマル住職と一緒に遊ぶこともあるのですが、今は何となく主役の座をヤギさんに奪われてしまったようで存在感が・・・(笑)。とはいえ、それは人間の勝手な憶測で、マル住職自身は騒がしくなくなつて、のんびり過ごさせて快適なのかもしれません。むしろヤギさん達のほうが注目を浴びすぎてストレスを抱えるようになってしまっているのかもしれない。上手に付き合っていきたいように、上手に遊ぼうね。